図書館だより

2021／夏号

真剣に発表を聞いてくれました。

選ばれた本を手に持って。素敵な発表でしたよ。

「あえてバラバラにすることも大事なのかな」

5月31日（月）、二階堂高校＆分教室図書委員会合同で、図書館イベント「ワタシの一行」が行われました。図書委員それぞれが、心に残った一行からオススメの本を紹介するイベントです。代表の12人が発表し、観覧者はその発表を聞いて、読みたくなった本に投票をします。

今回一番票を多く集めたチャンプ本は、相沢沙呼さんの『教室に並んだ背表紙』です。

心に残った一行

「それはね、本と出逢うのに必要なのは、誰が書いたものとか、どこの会社が出しているかとか、そういうことじゃないからよ」

あおちゃんが通う中学校の図書館のカウンター横には、内容、形態がばらばらの本が並んでいる本棚がひとつあります。それを不思議に思って「この棚ってさ、どうして作者とか出版社とか、そういうのでまとめたりしてないの？」と質問したあおちゃんに、司書が答えた言葉を選んでくれました。

発表者が同じことを思ってお母さんに質問した体験談や、あえてバラバラにすることも大事なのかな、と考えていたことなど、自分の言葉で、選んだ理由を語ってくれました。

チャンプ本に選ばれて、「選ばれると思ってなかった。自分がオススメしたい本を、みんなが『いい』と言ってくれて嬉しい。これを機に、たくさんの人に読んでもらいたい。」と話してくれました。

みなさん、図書館での生徒と司書の物語『教室に並んだ背表紙』を、ぜひ読んでくださいね。

参加してくれた本好きの観覧者からは、「中学で、なかったイベントだったのでいい経験ができた」、「おすすめされて読みたいと思った本もあったし、自分が知らない本を知ることができた」など楽しい感想が聞かれました。

準チャンプ本2冊は、
『夜に駆ける　YOASOBI小説集』
『夜のピクニック』でした。

『夜のピクニック』は、準チャンプ本になったことに加えて、現代文の教科書に、この話の予告編のような短編が載っているので、最近貸出が増えています。

図書委員長に感想を聞いたところ、第一声で「人が多かった！」と言うほど、思っていた以上に参加者があり、とても有意義なイベントになりました。また分教室図書委員長も「人が多くてびっくり。いろんな人の一行を知ることができてよかった。楽しかった。」と話してくれました。

委員長ふたりが中心になって、イベントをサポートしてくれました。どうもありがとう！

観覧した図書委員から、自分たちもやってみたいと声があがり、6月29日（火）の分教室図書委員会で、「分教室版ワタシの一行」も行いました。

分教室図書委員会でチャンプ本になったのは、『鬼滅の刃しあわせの花』です。

心に残った一行

幸せかどうかは自分で決める。大切なのは〝今〟なんだよ。

友だちのイチオシ

『ひぐらしのなく頃に』／竜騎士07

みんながハッピーな気持ちになれるハートフルな本です。

3年？組　幻想の最後剣

『強運の持ち主』／瀬尾まいこ

自分はあまり本を読むことはないのですが、図書室の先生にこの本を勧められ、「とりま読んでみるかー」って感じで読みました。

この本の主人公は占い師で、毎日来るお客さんの悩みを聞きます。中にはかなり重い相談をする人もいます。そんな占い師の日常を描いた本です。

自分みたいに本を読むことがない人、本が苦手な人にも読みやすいと思います。

3年？組　Re:VANiLLA